

# 当院の透析糖尿病患者における グリコアルブミンとヘモグロビンA1Cの 乖離についての検討

両国東口クリニック

渋佐久美子 濱田絵美 城和美穂子 深瀬征樹

諸見里仁 大山恵子 大山博司



# はじめに

透析糖尿病患者における血糖コントロールの指標としてヘモグロビンA1C(以下HbA1C)では腎性貧血により修飾される事が知られている。

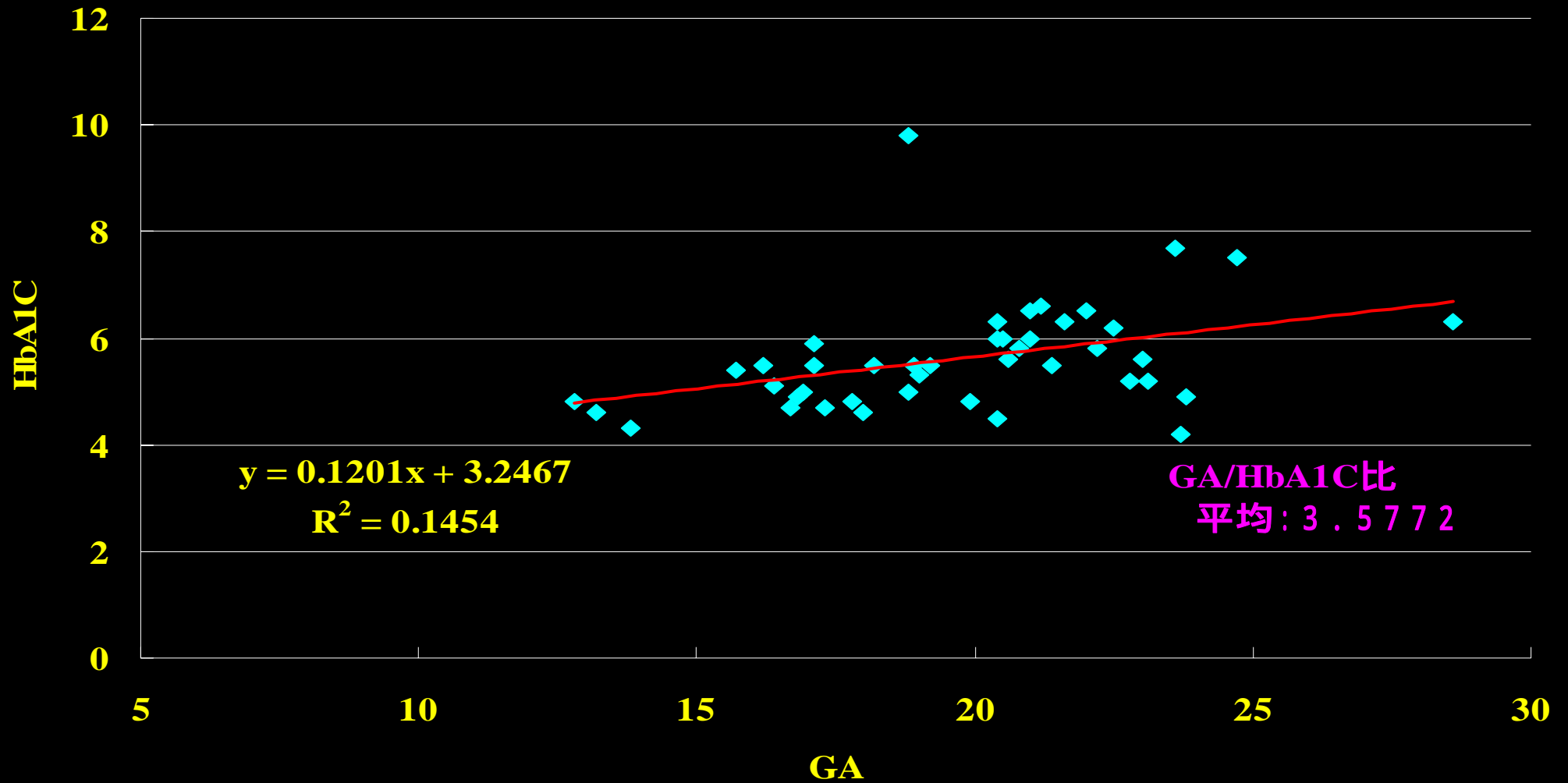
昨今、HbA1Cに変わって安定した評価が可能なグリコアルブミン(以下GA)が血糖コントロールの指標として推奨されている。しかし当院の透析糖尿病患者において空腹時血糖測定ではコントロールも比較的よい症例においてGAが高値を示す症例が数例認められた。GAは食後血糖値との関連が高いという報告もあり、そこで、当院の透析糖尿病患者のGA、HbA1C値をもとに食前・食後血糖値やアルブミン、体格指数(以下BMI)などについて関連を検討した。



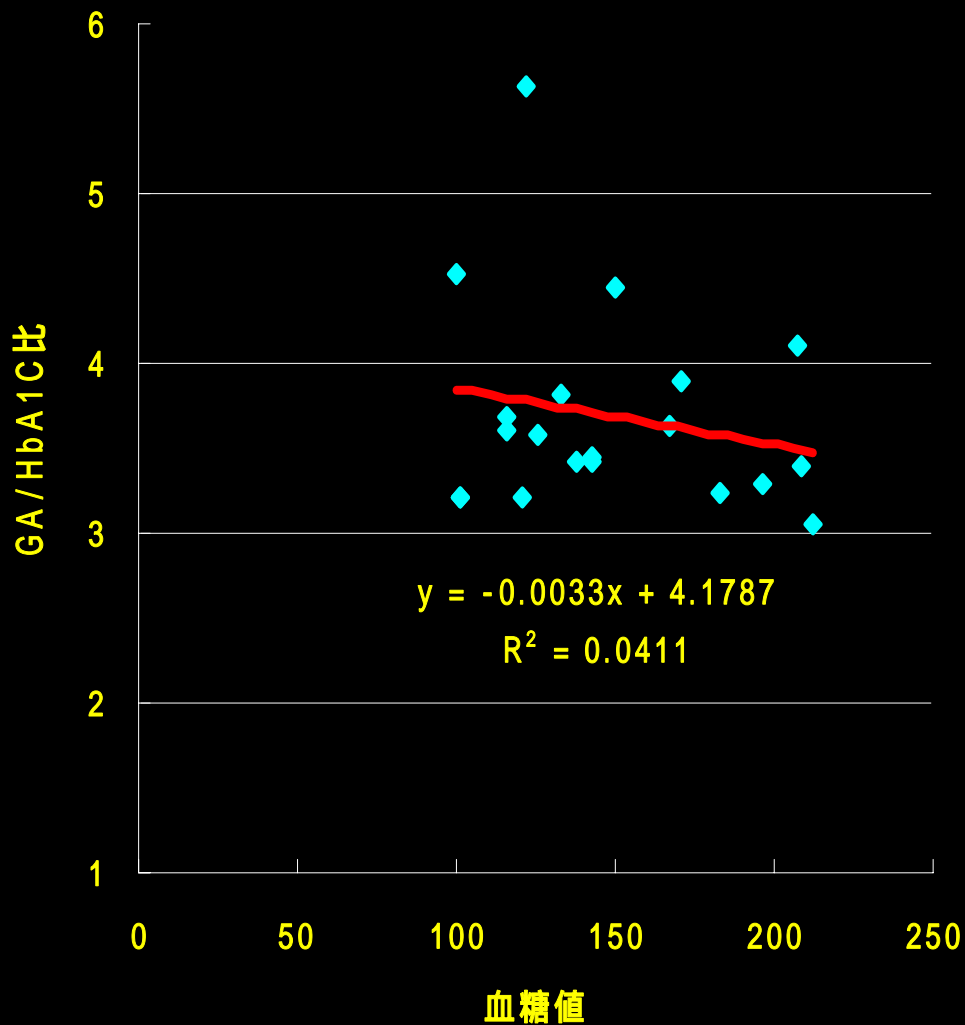
# 方法

- 当院の透析糖尿病患者44名のHbA1C、GAを同時に採血し差異を確認し、GA/HbA1C比の平均を算出した。
- の症例の中よりGA/HbA1C比の平均以上の患者11名 平均以下の患者11名の食前、食後30分 60分 120分の血糖値を測定した。
- さらに血算、生化学検査等の諸検査を 含め関連を検討した。

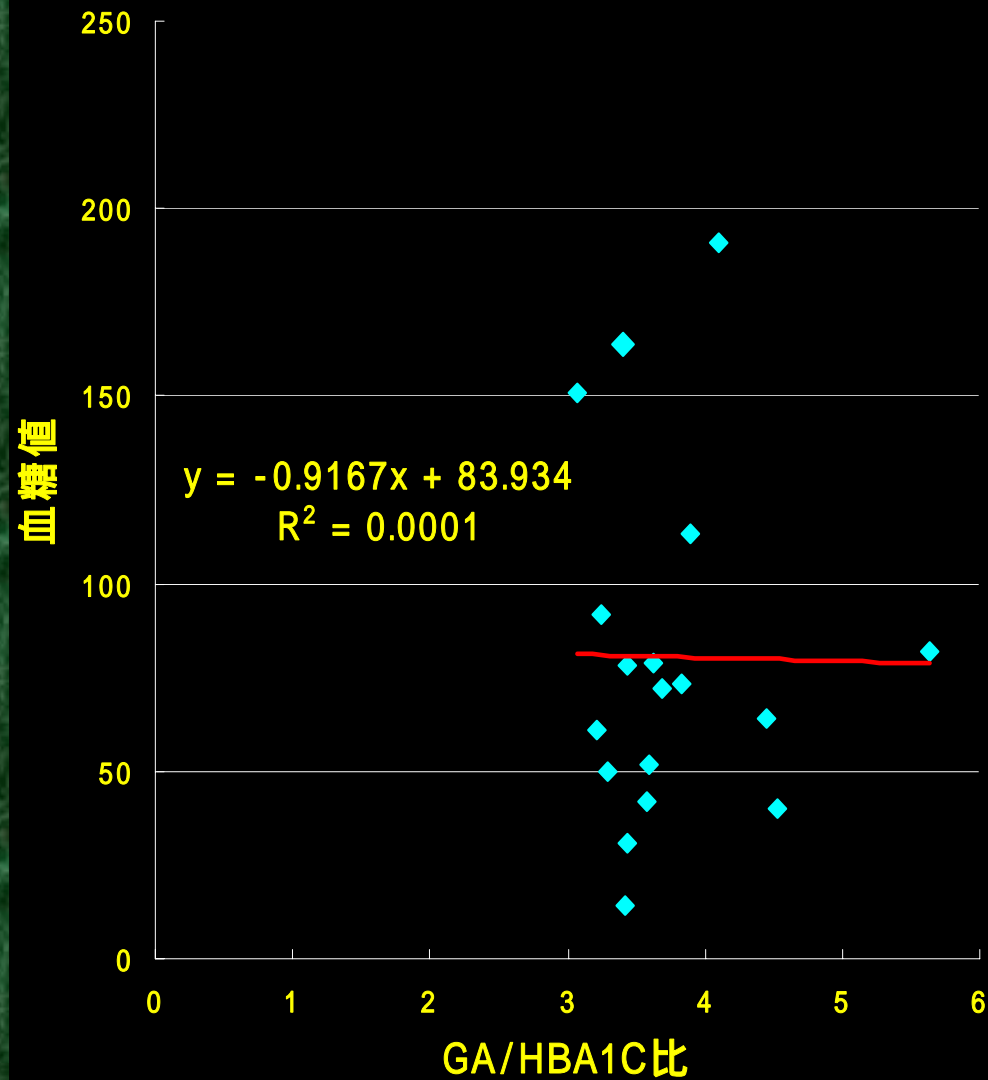
# GAとHbA1C



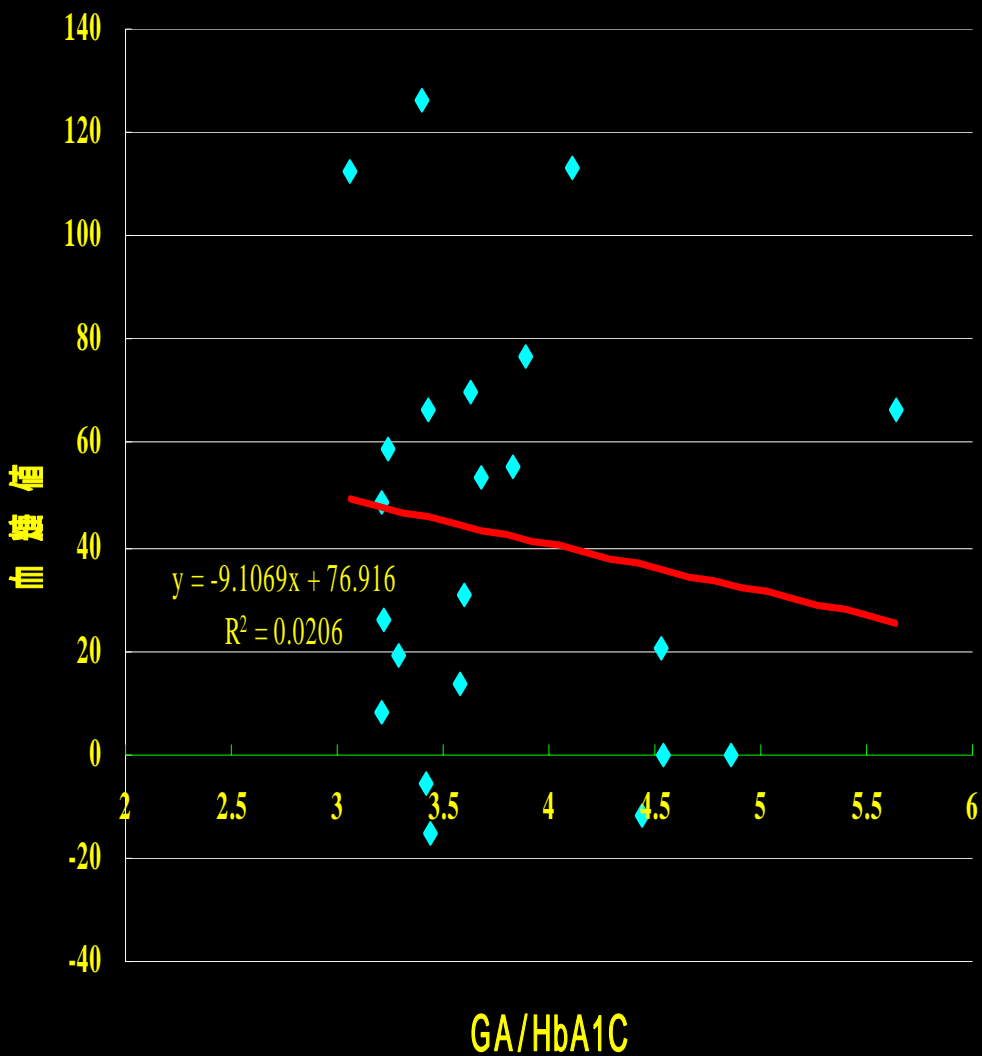
### 平均血糖値



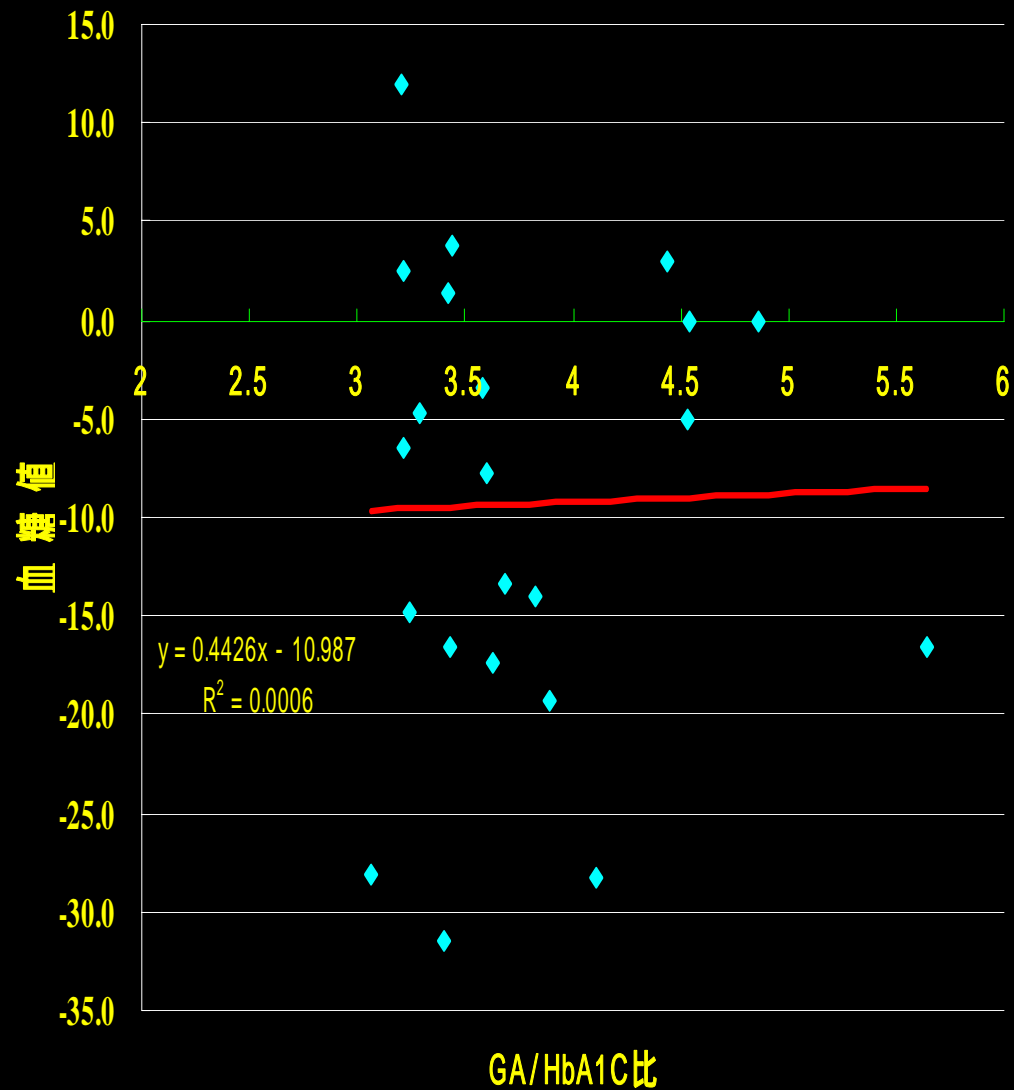
### 血糖値の低高値差



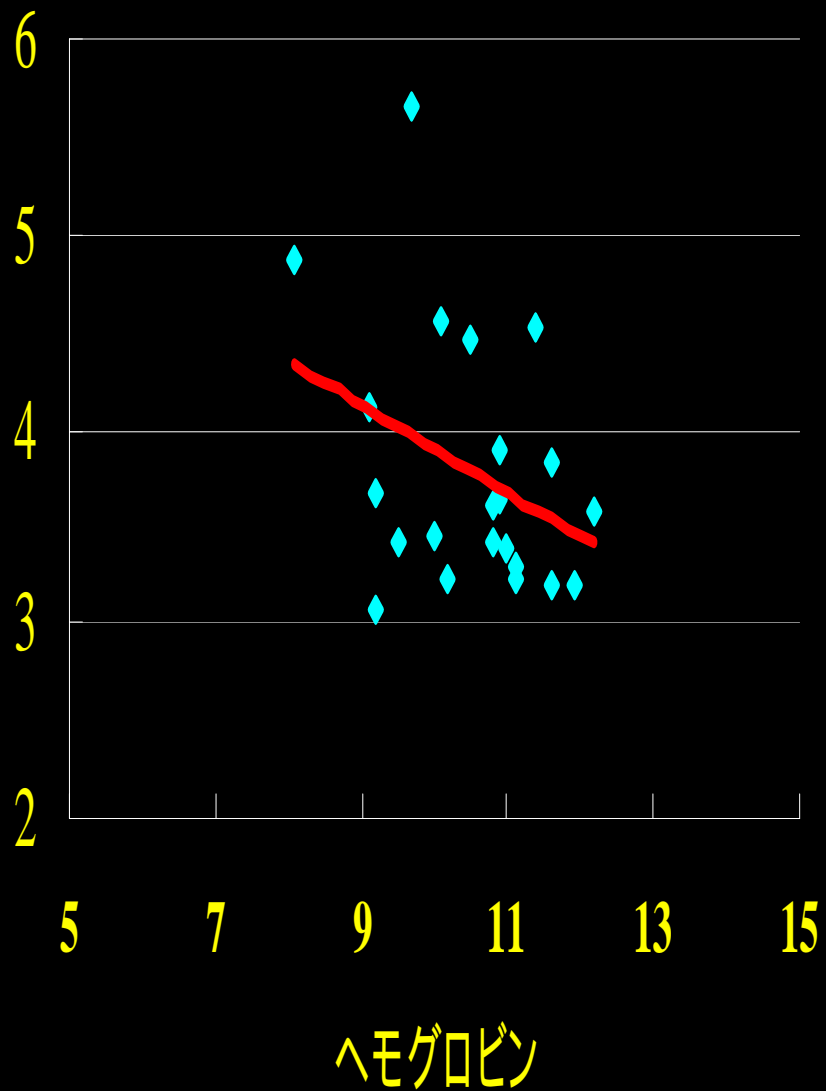
食前血糖値からの各時間ごとの血糖値のふり幅の平均



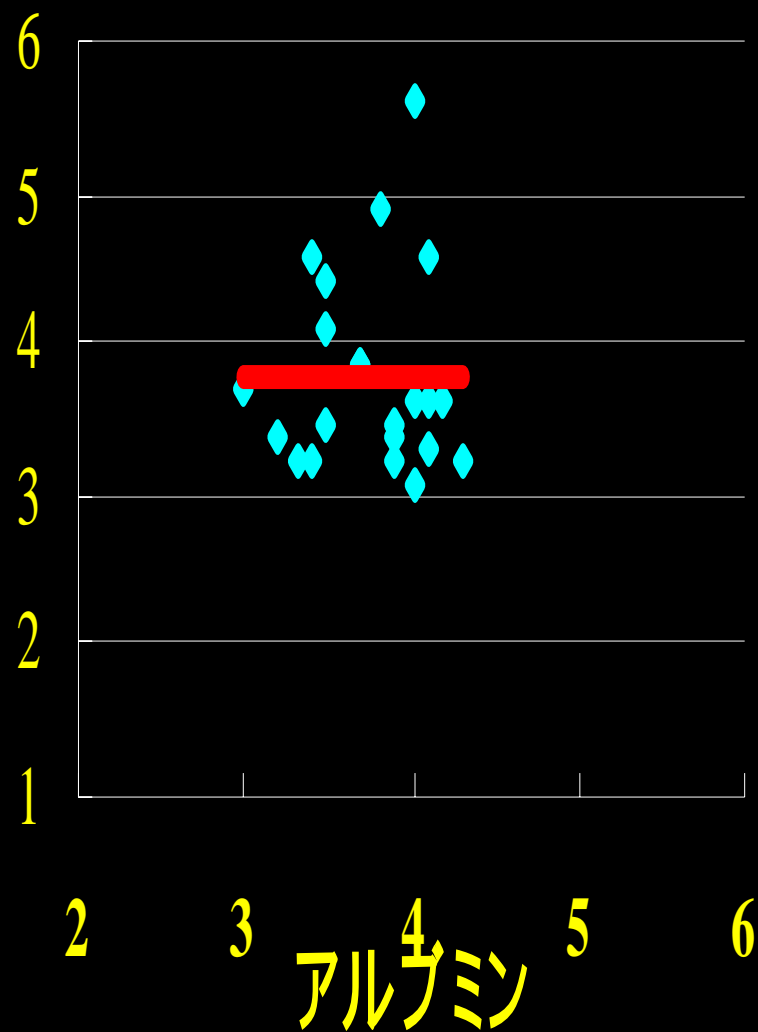
平均血糖値から各時間の平均



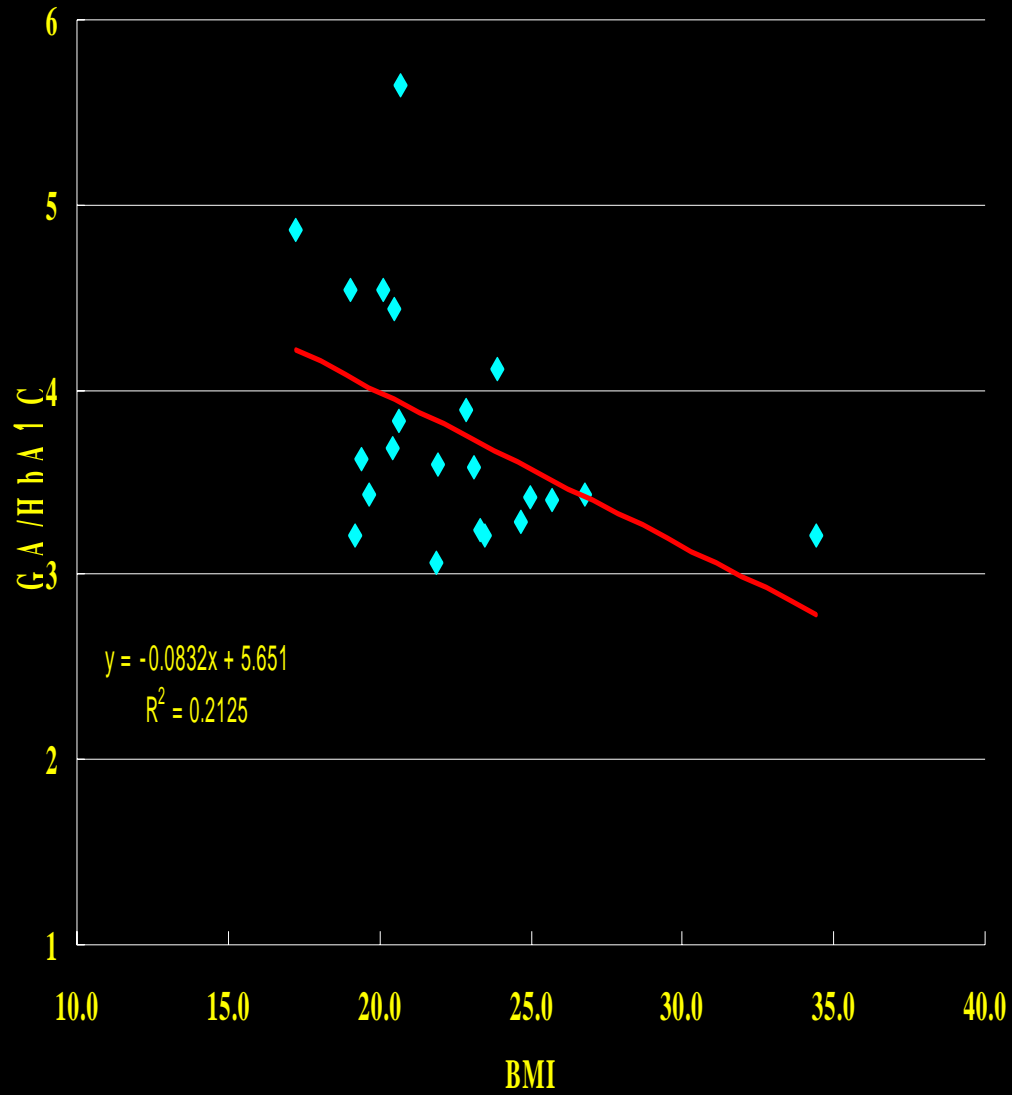
ヘモグロビンとHbA1C/GA



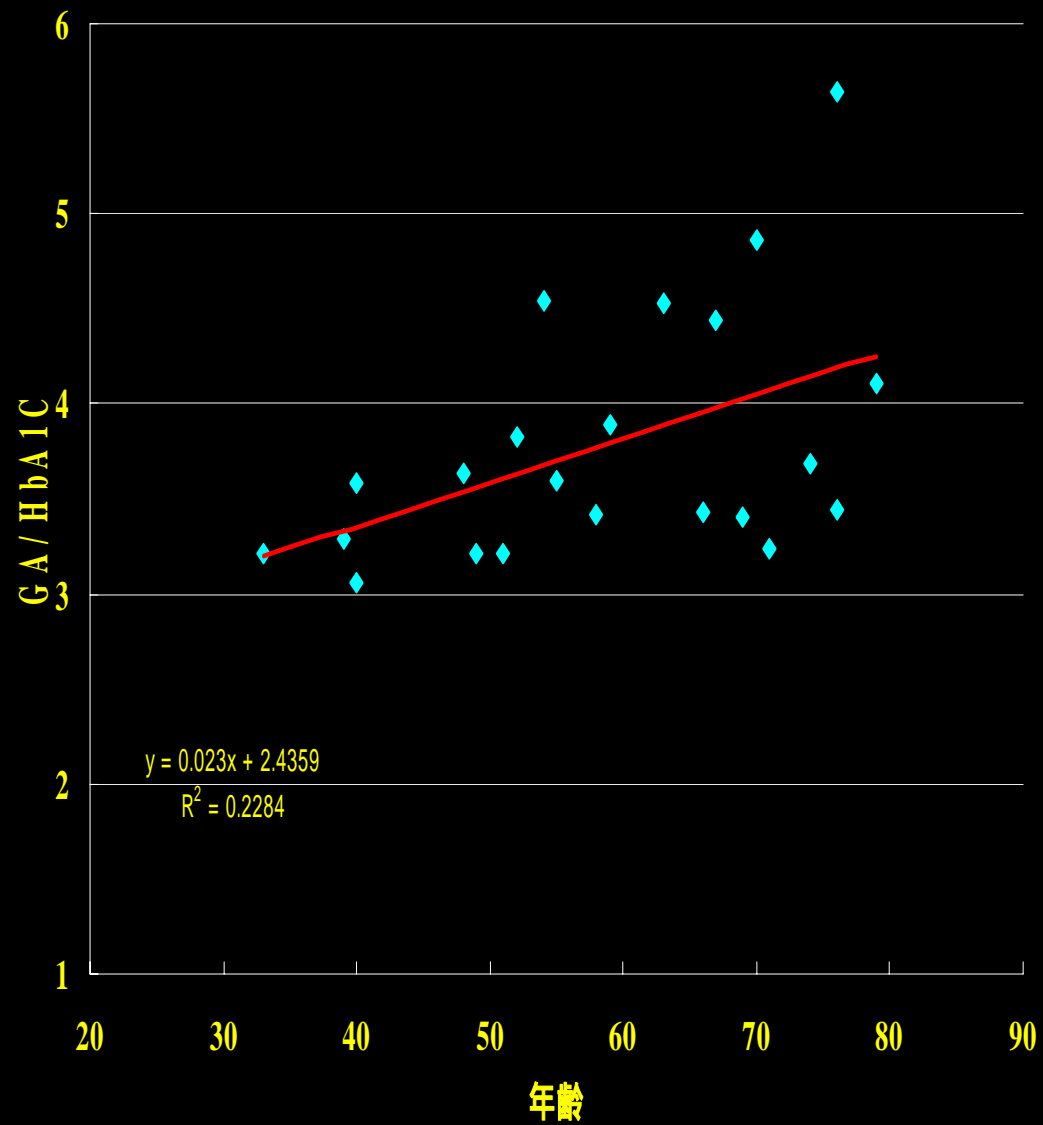
アルブミンとHbA1C/GA



### BMI

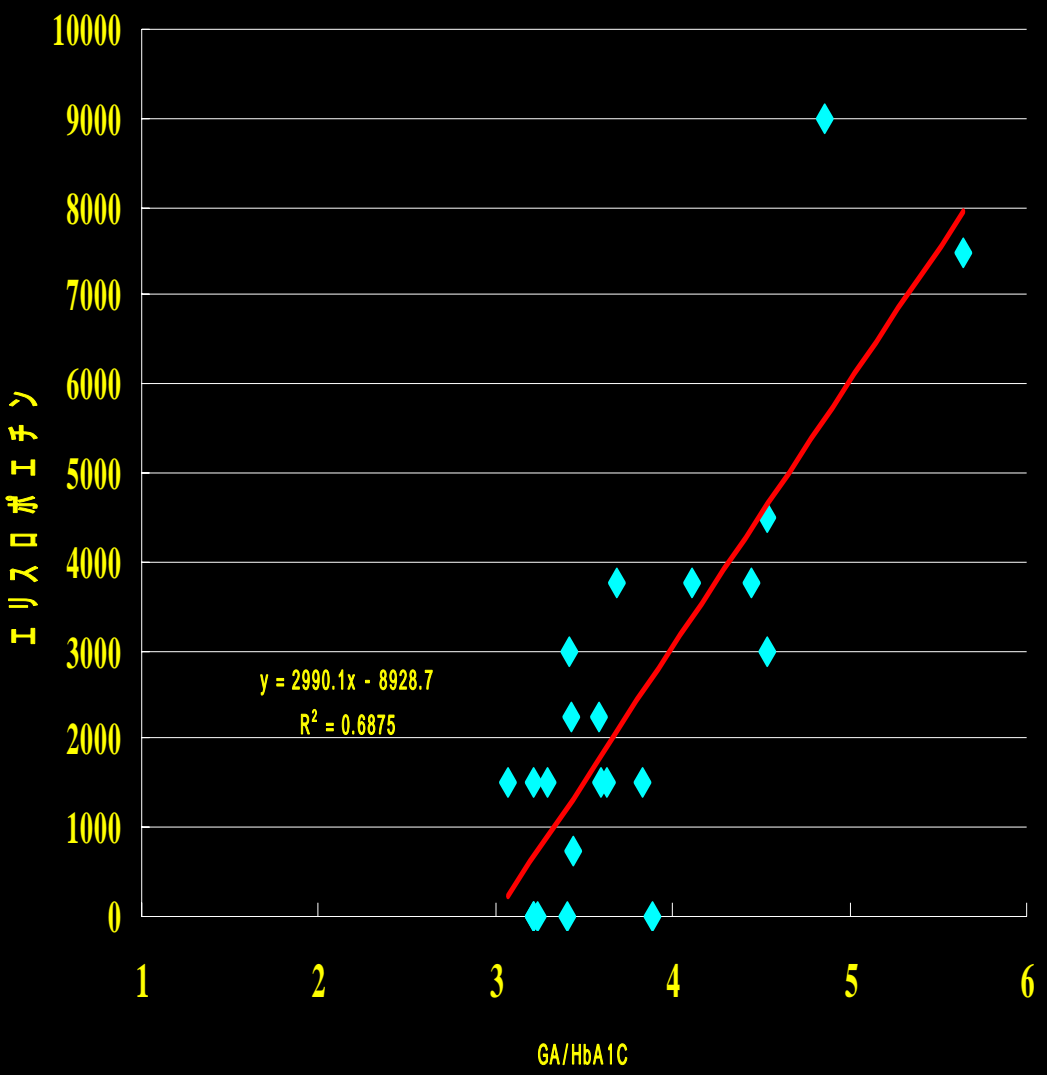


### 年齡

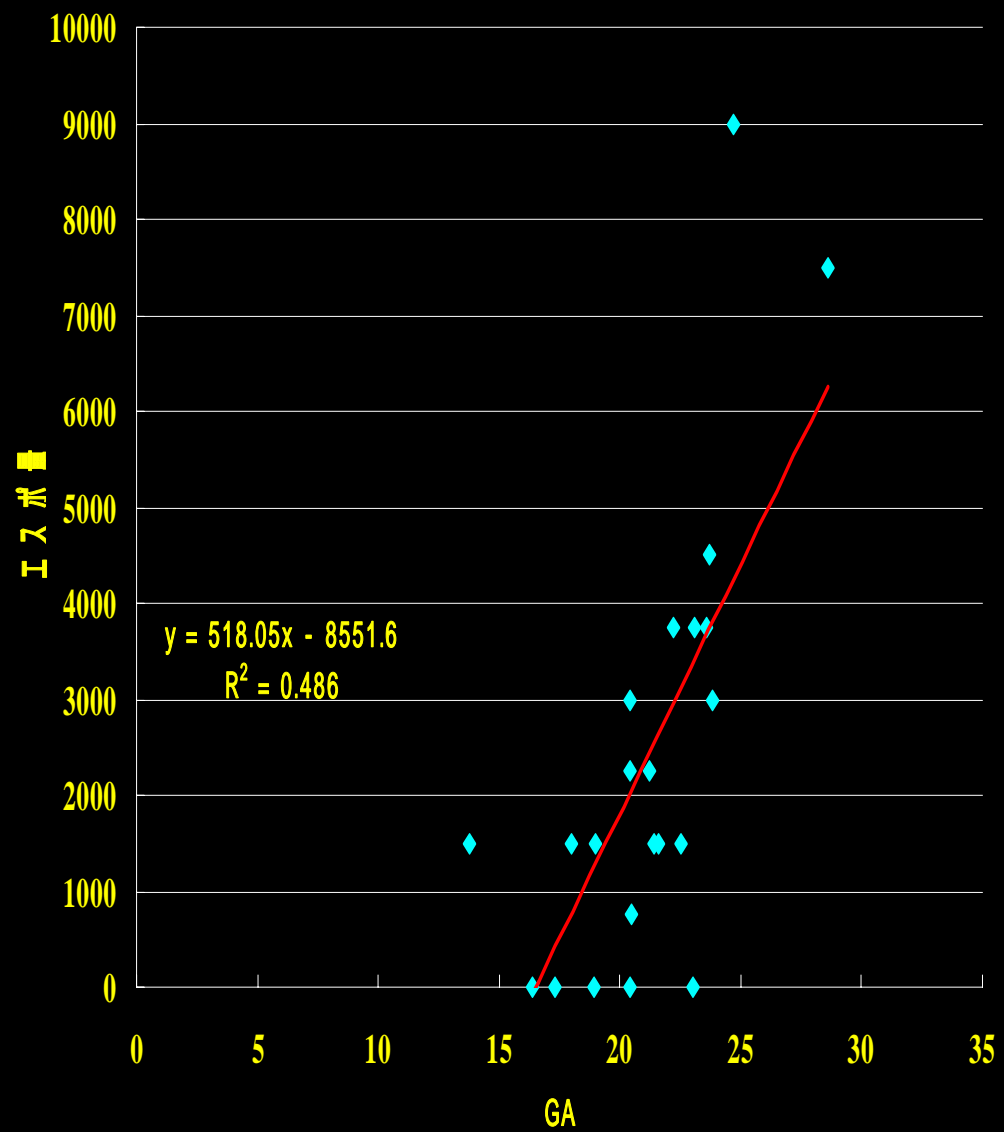




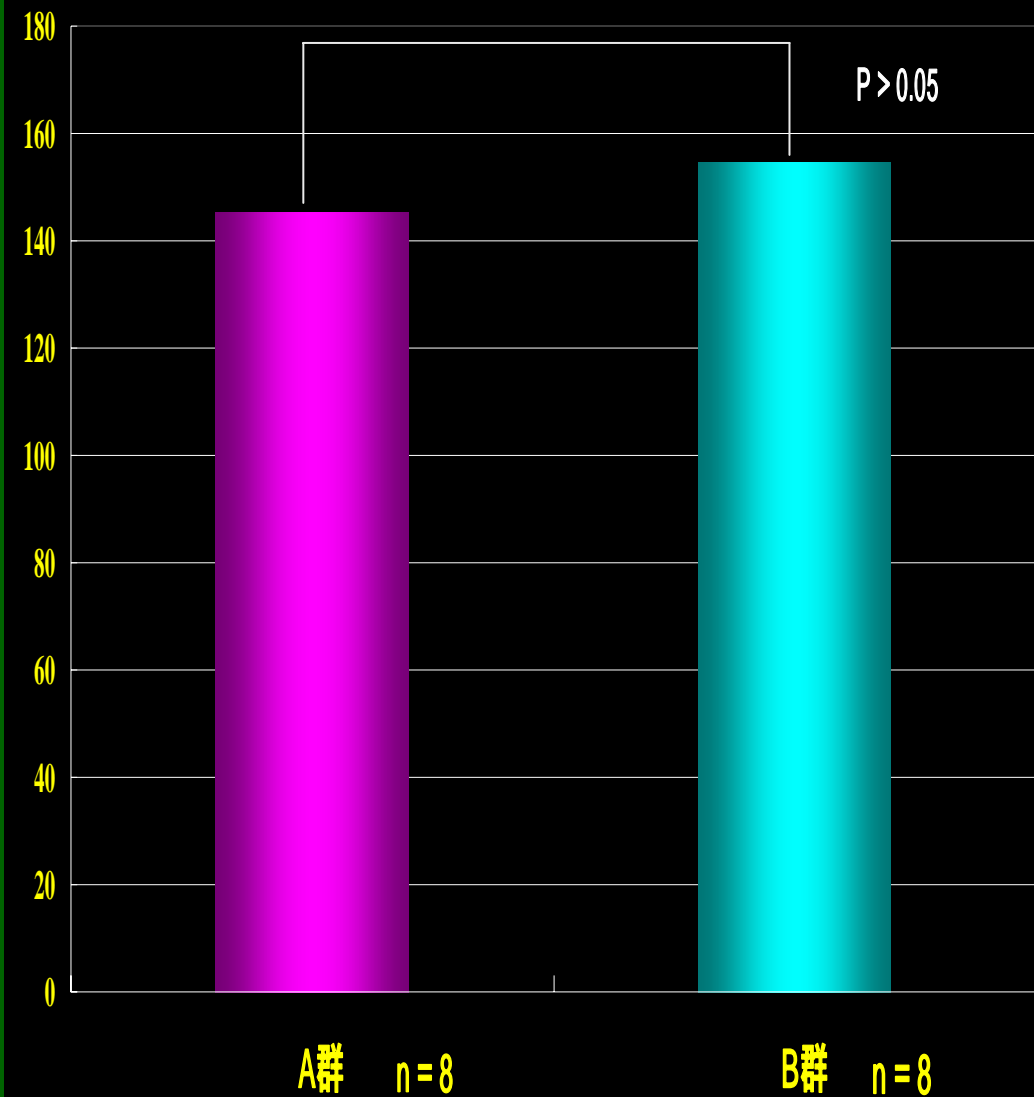
エリスロポエチン



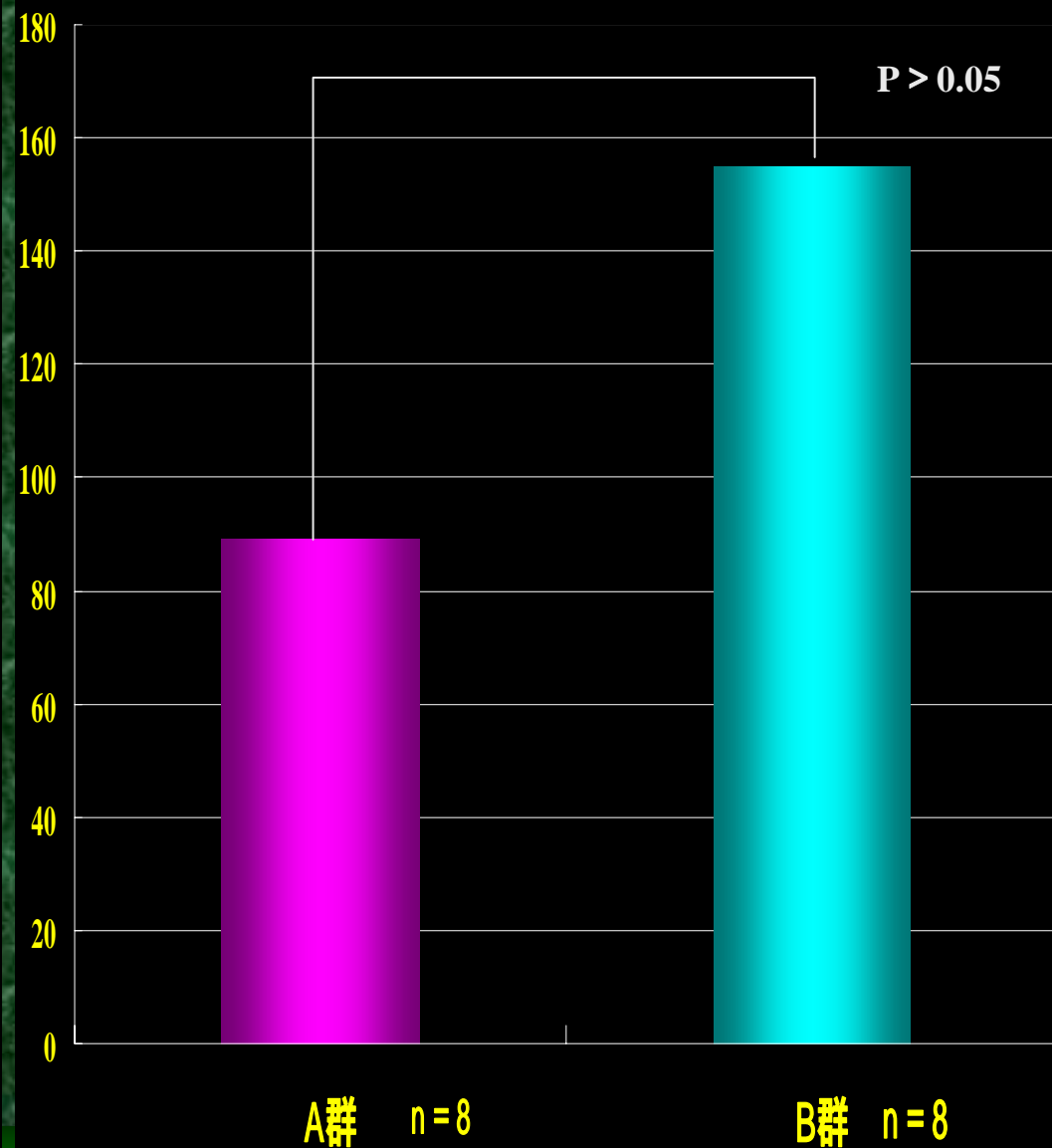
GAとエリスロポエチン使用量



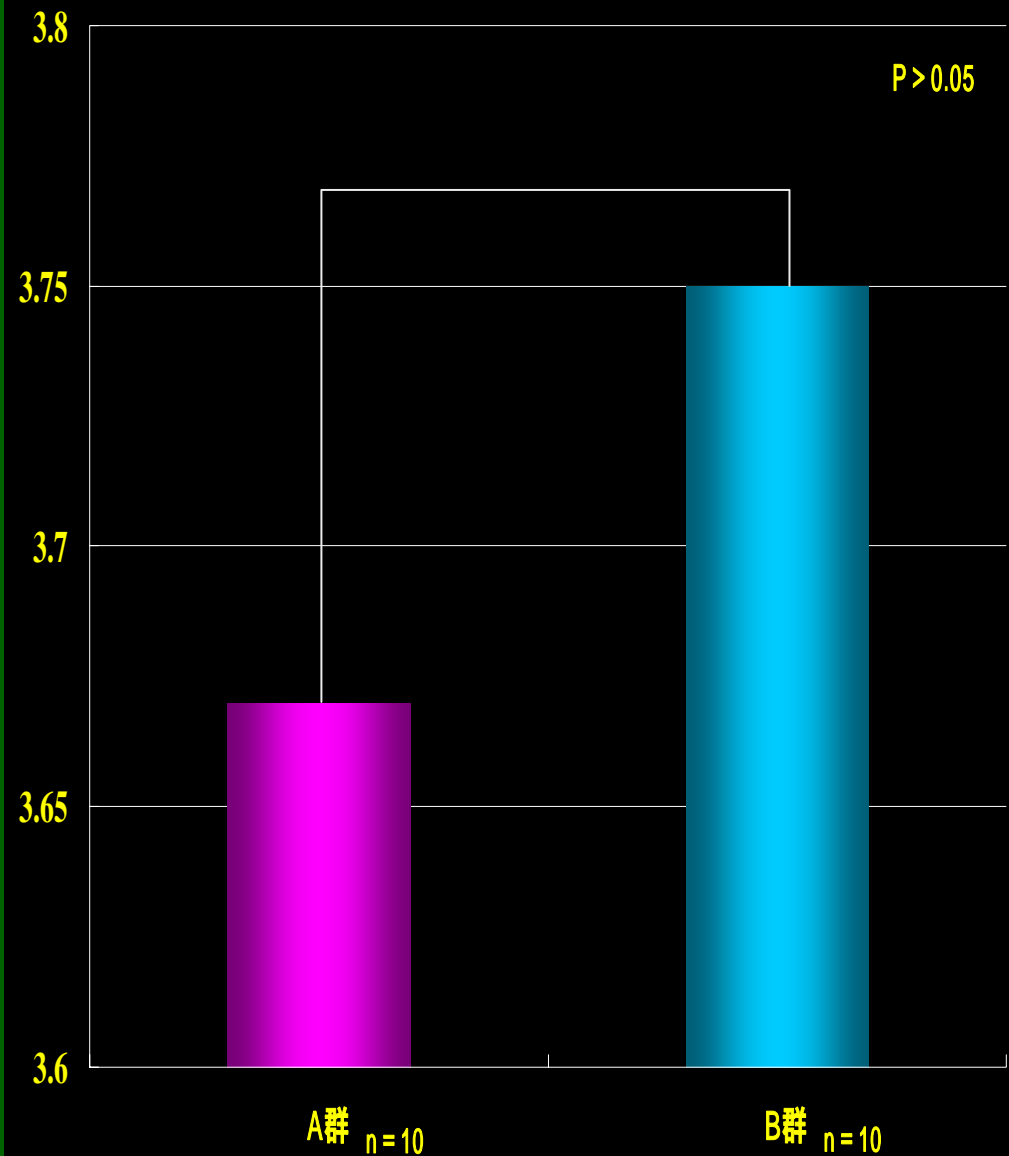
### 平均血糖値



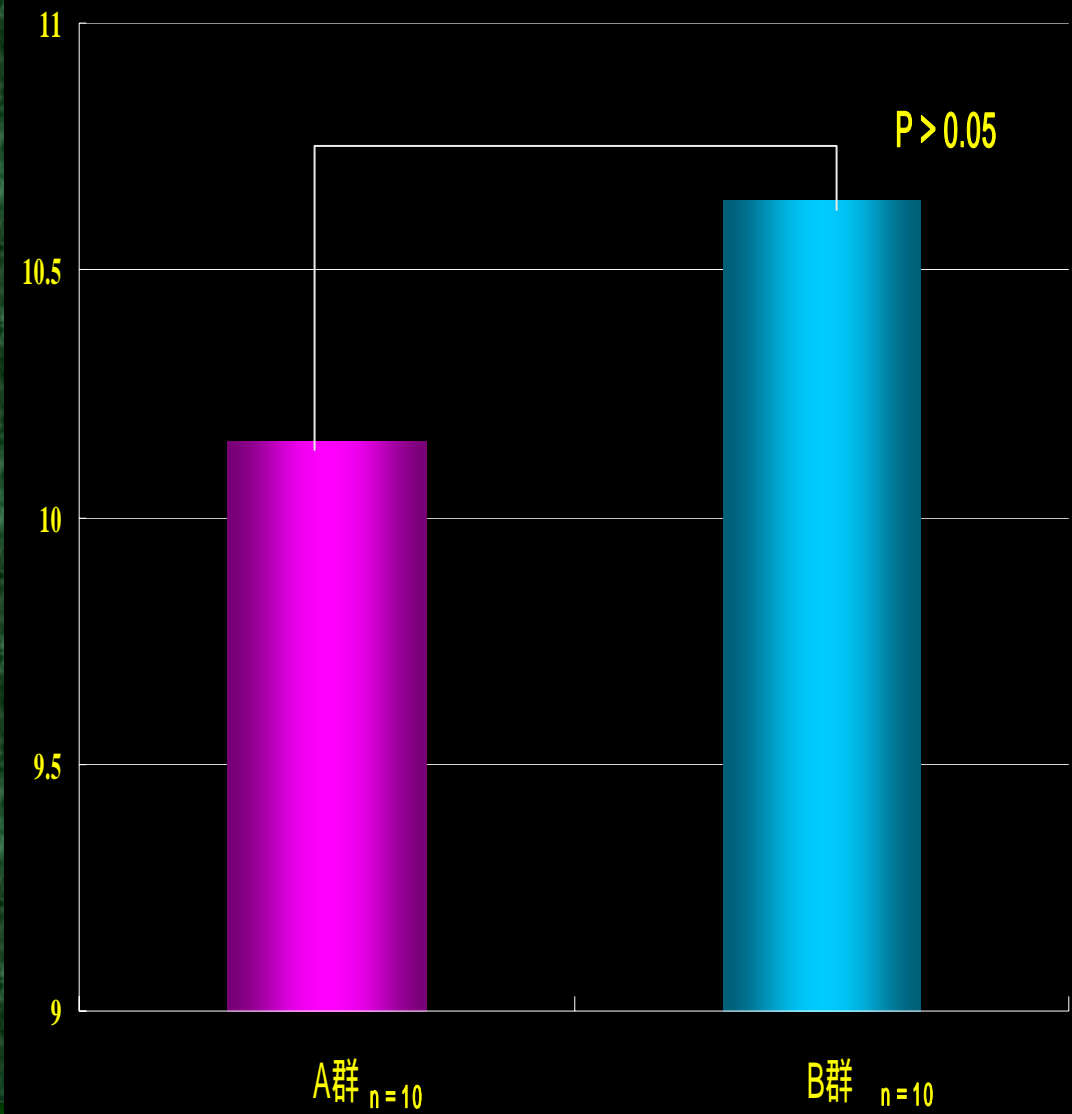
### 血糖値の高低差



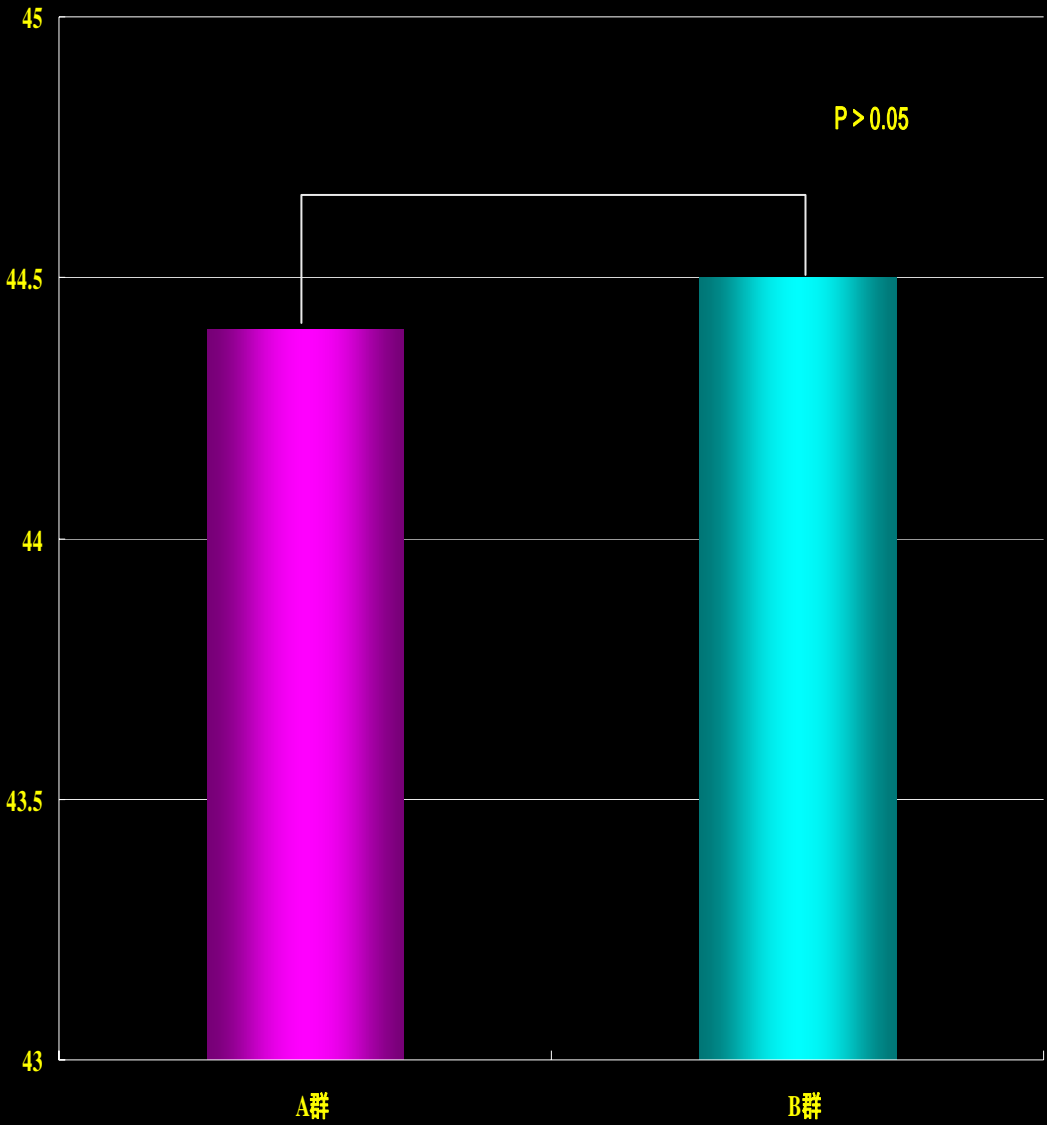
### アルブミン



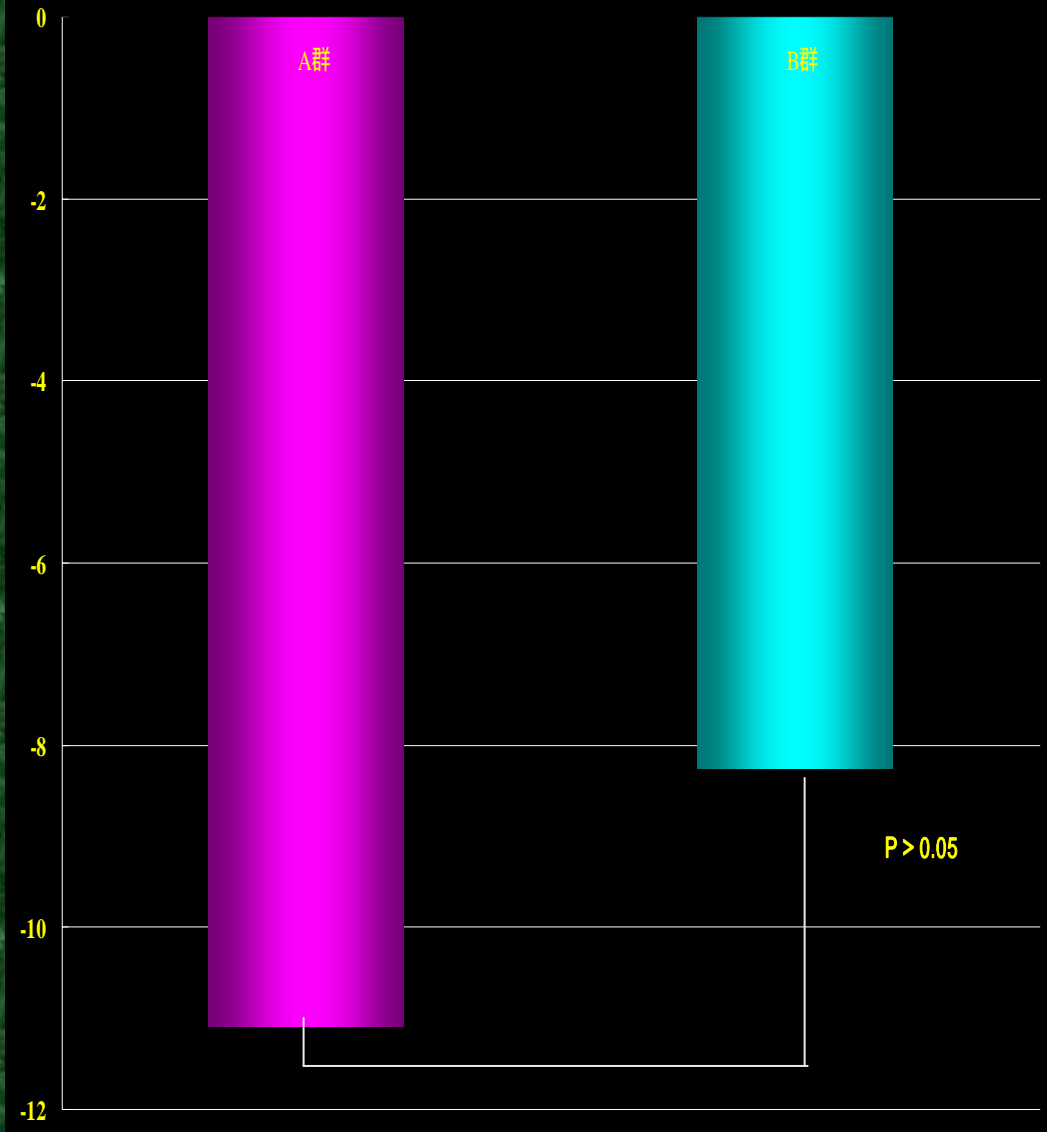
### ヘモグロビン



食前からの各時間ごとの血糖値の平均

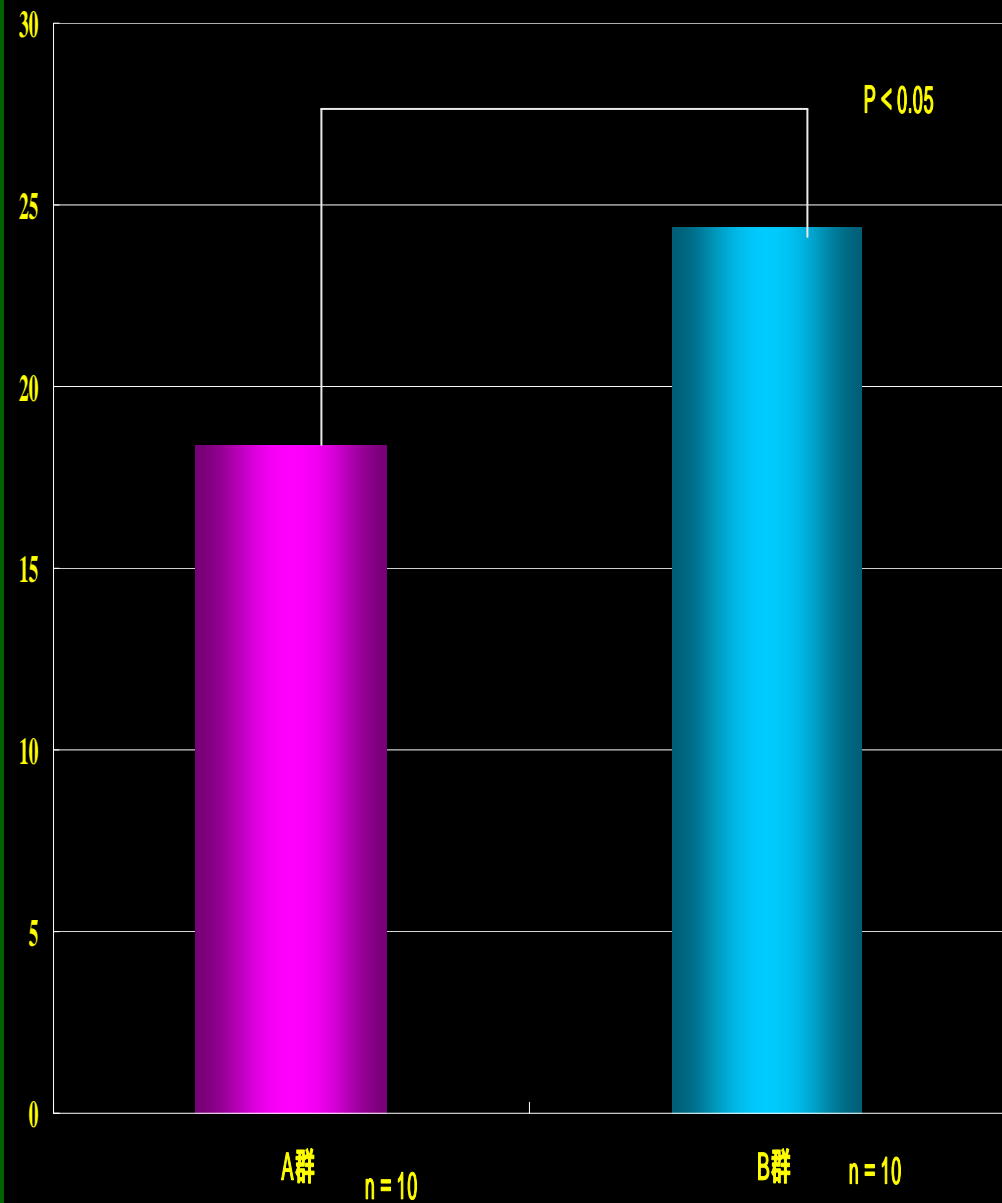


平均血糖値から各時間ごとの血糖値の平均

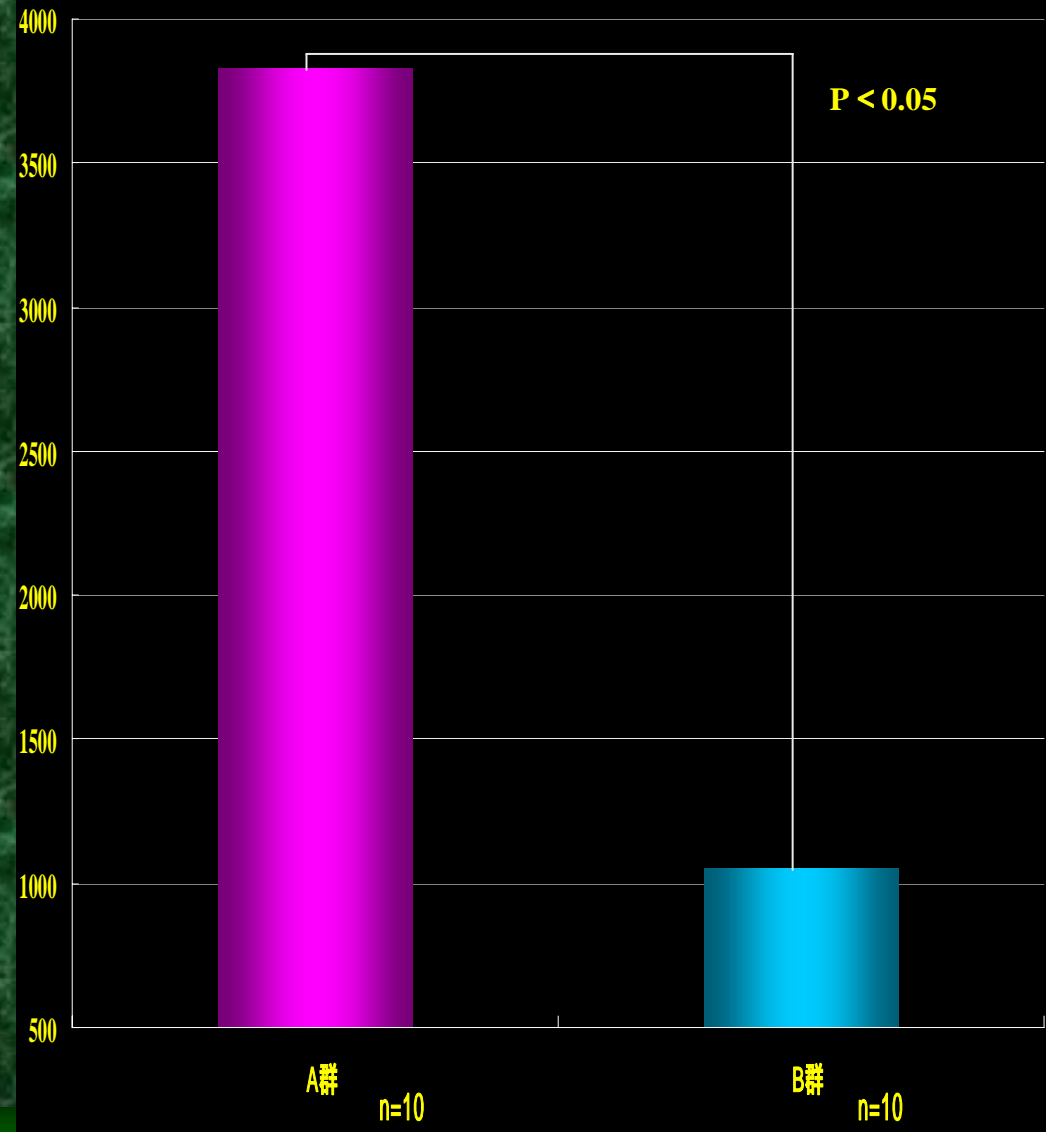




### BMI



### トリグリセリド



## 考察

今回の研究でGAとHbA1C比と平均血糖値にやや相関があると結果が出たが、食前から食後血糖値の変動の仕方からは相関性や有意差は出なかった。しかし、BMIやエリスロポエチン量、年齢には若干の相関と有意差があり、栄養状態が不良でBMIが低い、貧血が悪化しやすい高齢患者などではGA/HbA1C比が大きくなりGAが高値を示す傾向があるのではと示唆できるが、今回の研究は対象者も少なく、採血も1回であったこと、血糖測定タイミングもしっかり統一されたものではない為、確立した結果は出せなかったと考えた。



# まとめ

- 透析糖尿患者のGA値の基準にはさまざまな意見があるが、GAのみを見て判断するのではなく、栄養状態、年齢、貧血など色々な角度から、またその時の状況を表す食前血糖値、食後血糖値から血糖コントロールを評価していく必要があると改めて感じた。また、最近ではインスリン分泌量やエリスロポエチンのGAへの影響などの発表もある。

透析糖尿病患者の血糖の指標にGAは優位との意見が多いがGAが高値にも関わらず血糖値が良好な症例もあり、今後も色々な角度から観察を続けていく必要があると考えた。